

自己改革

JA紀南の挑戦

連載 ⑩

農業融資



部門間連携を深め、組合員が有利に利用できる農業融資について情報交換する金融・購買・指導の担当者(三栖支所)

JA紀南では、「農業振興資金」にはじまり、「うめ経営改善促進資金」、制度資金などを扱っている。この他、組合員勘定貸越(クミカン)や営農ローンなど当座性貸越しも農業融資に含まれる。平成29年度の農業融資の新規実行は、農業振興資金が最も多い。農業振興資金を活用した農家の資金使途は、トラクター・コンバインなどの農機具や軽トラ

ックなどの購入資金、ス
度
の計画では部門間の情報共有と組合員との接点を増やすための計画的な定例訪問活動の強化を行うことにしている。JAでは「出向く活動を通じ、JAの総合事業のメリットを発揮したい」と考えている。

JA紀南では、JAバンク和歌山では、自己改革の取り組みとして、農業資金需要への対応とメインバンク機能の強化を図るため、農業振興資金やJA新規就業応援資金などの借入れに対して「利子補給制度」と「保証料助成制度」による農家への支援を今年も継続している。利子補給制度は、農業資金の借入れ負担の軽減を目的に、最大1%の利子補給を行う制度で、農業振興資金でこの制度を使った場合、借入日から3年間の利子補給が受けられる。さらに保証料助成制度により、借入れ農家が負担すべき県農業信用基金協会への前取り一括保証料が全額助成となる。JAバンク和歌山では平成27年度から29年度末までに約4

JAの農業融資には、農機具の取得、日常の農業経営全般にや施設などの設備投資や農地

金融と営農部門の連携強化 訪問活動強化で接点増やす

000万円の助成を実施した。また、農業振興資金では「農機・ハウス等ローン金利キャンペーン」(期間は平成30年12月28日

JA紀南では、JAバンク和歌山の制度を活用した農業融資の提案に取り組みともに、平成30年度は、指導・購買など営農部門との連携を一層強め、組合員への訪問活動を増やす計画にしている。他部門との連携の面では、営農指導員や購買担当者などの農業金融プランナー資格の取得を進めている。融資担当者が営農指導員会議などに出席することによる、農業者の経営安定や所得増大に向けた農業資金の情報提供にも努めている。

JA紀南は農業者の所得増大などに向けた自己改革に取り組んでおり、農業融資の取り組みとしては「農業関係資金とメインバンク機能の強化」を掲げている。金融部門と営農部門が連携して組合員の総合的な経営支援を行おうと、平成30年

度
の計画では部門間の情報共有と組合員との接点を増やすための計画的な定例訪問活動の強化を行うことにしている。JAでは「出向く活動を通じ、JAの総合事業のメリットを発揮したい」と考えている。

トラクター・トラクタールなど農機具
ビニールハウス等農業用施設

農機・ハウス等 ローン金利キャンペーン

キャンペーン期間 平成30年1月4日～12月28日

年0.2%

貸出期間
金利は固定
保証料
負担なし

農機具、ビニールハウス等の購入をご検討の農業者のみさまへ。

JA紀南

実施中の「農機・ハウス等ローン金利キャンペーン」
000万円の助成を実施した。また、農業振興資金では「農機・ハウス等ローン金利キャンペーン」(期間は平成30年12月28日

JA紀南は自己改革の実践を通じ農業所得の増大や地域の活性化にチャレンジしています